

進捗状況報告

① 基本設計業務

令和8年8月22日
佐伯区維持管理課

報告内容

1 基本設計平面図

2 遊具設置

(1) インクルーシブ遊具

(2) 幼児用遊具

(3) 傾斜を活かした遊具

(4) 冒険遊具

3 複合施設

4 鳥瞰図、透視図(着色前)

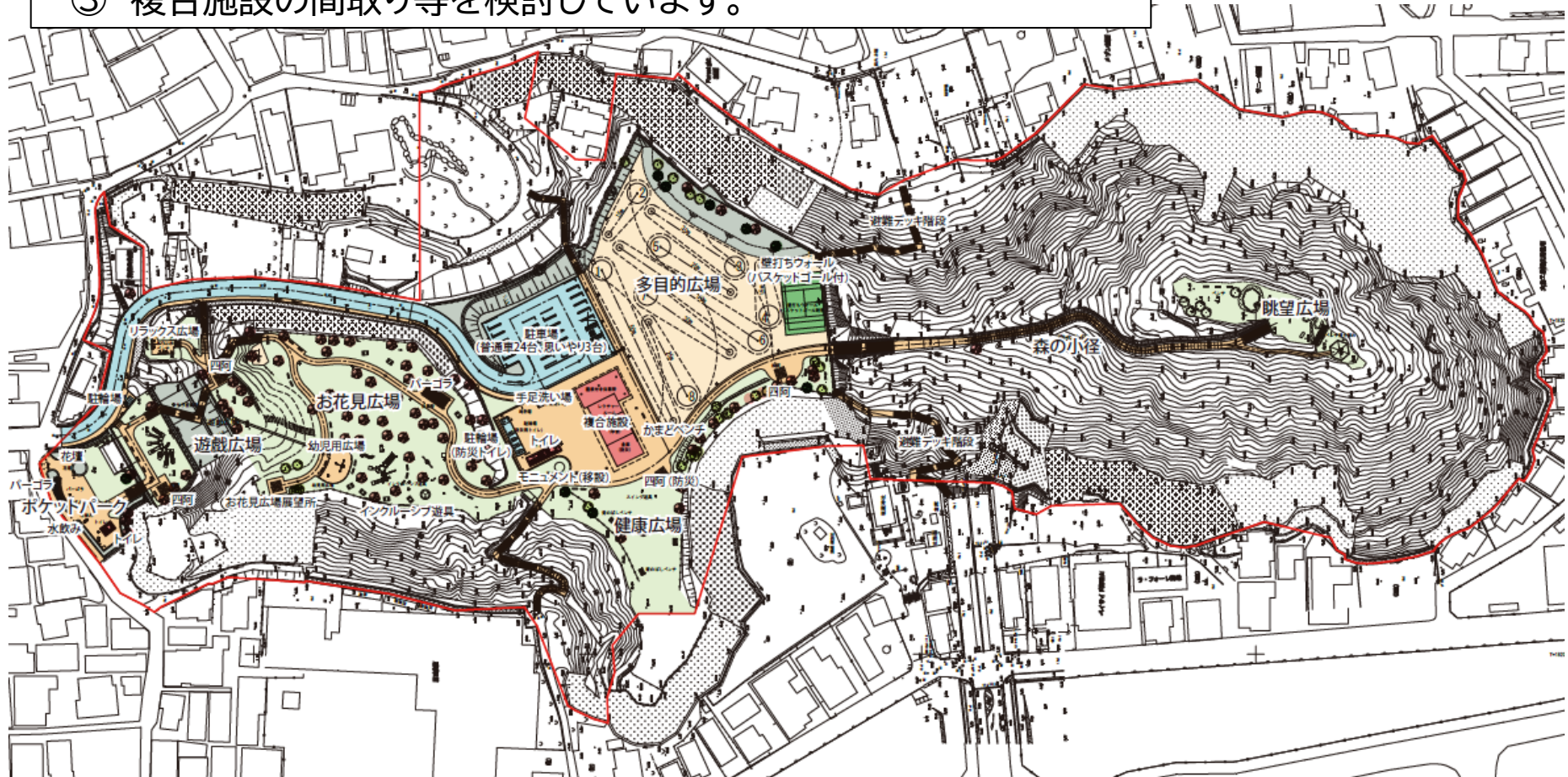
資料配布なし(説明のみ)

※基本設計業務から主な内容を抜粋

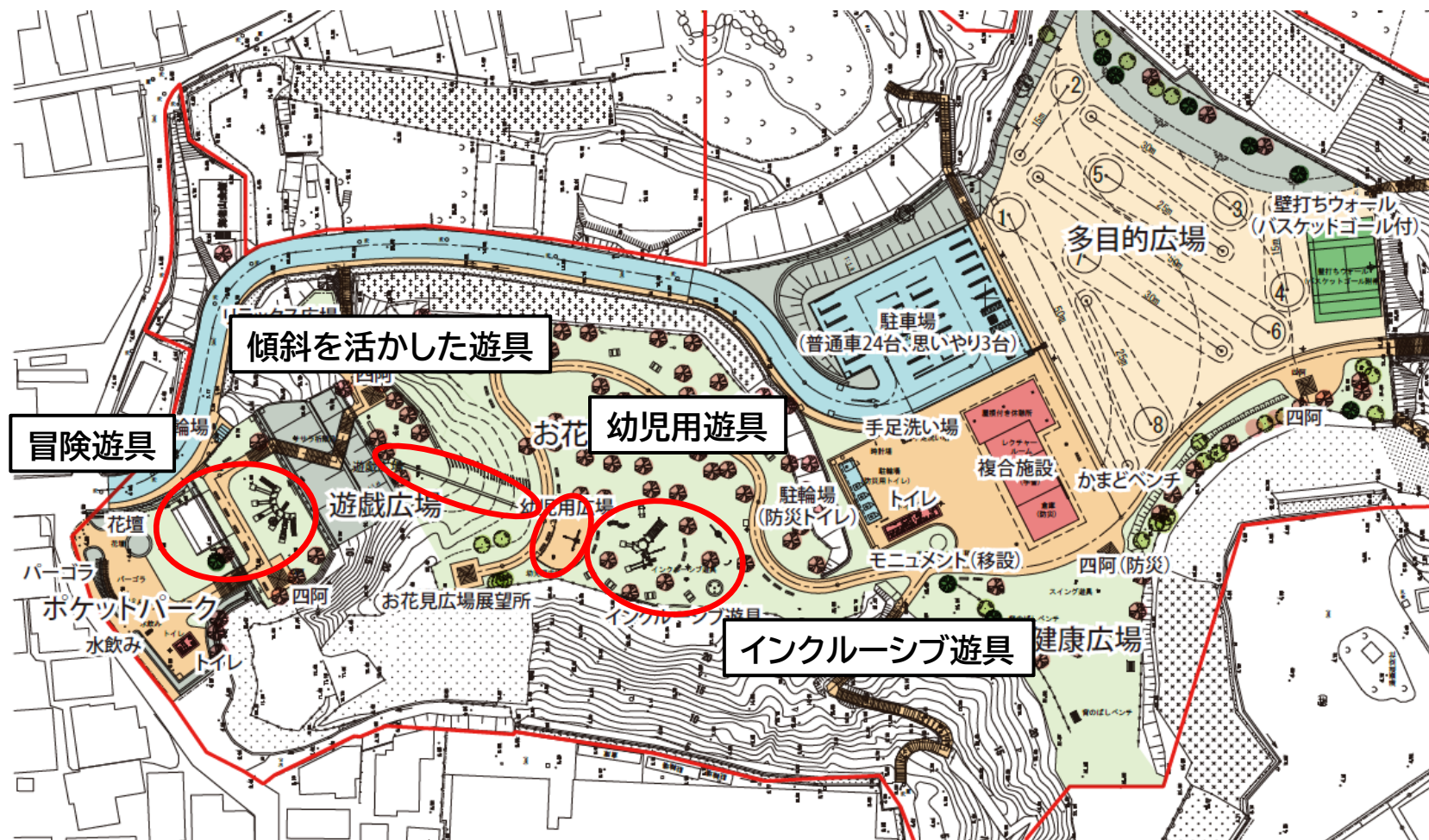
基本設計平面図(案)

【主なポイント】

- ① 駐車場、複合施設、多目的広場をバリアフリー設計としています。
- ② 既存の桜を極力活かした園路や遊具の配置としています。
- ③ 複合施設の間取り等を検討しています。



遊具設置(案)



【インクルーシブ遊具とは】

年齢、性別、言語、能力等、さまざまな個性や感性を持った人々が、分け隔てなく一緒に楽しさを共有し遊べるように設計された遊具のこと。

※「インクルーシブ」とは、すべてを含む、包括的な、排除しないという意味を持つ英単語で、公園においては、「誰もが遊べる」という意味で使われている。

インクルーシブ遊具(案) 複合遊具

特徴

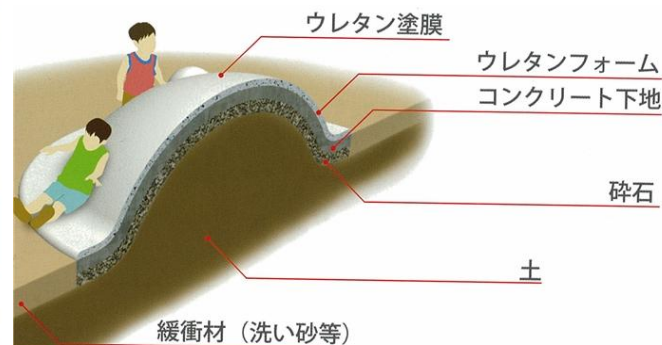
- ・3～6歳の乳幼児、障がいの有無にかかわらず誰もが遊べる複合遊具。
- ・車いす利用にも配慮。



インクルーシブ遊具(案) クッション遊具

特徴

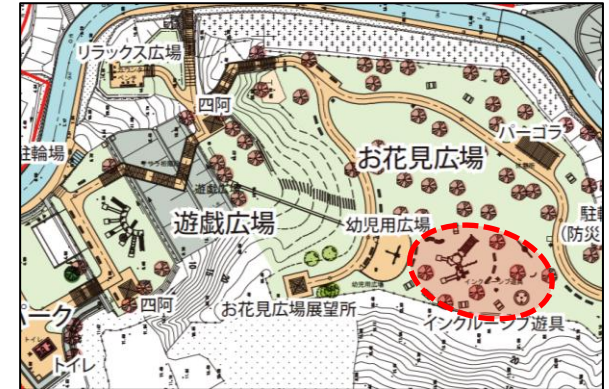
- ・表層に柔らかいウレタン素材をコーティングしたクッション遊具。
- ・のぼる、すわる、すべる、ねころぶなど、子どもたちの自由な発想で様々な遊び方が可能。



インクルーシブ遊具(案) 単体遊具

特徴

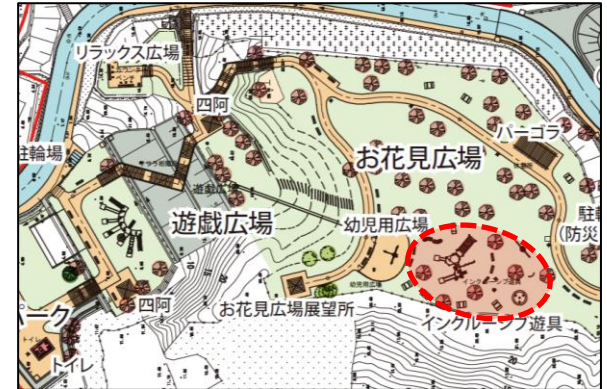
- ・障がいの有無にかかわらず誰もが遊べる遊具。
- ・かご状の座席に乗って誰でも揺れを楽しめる。



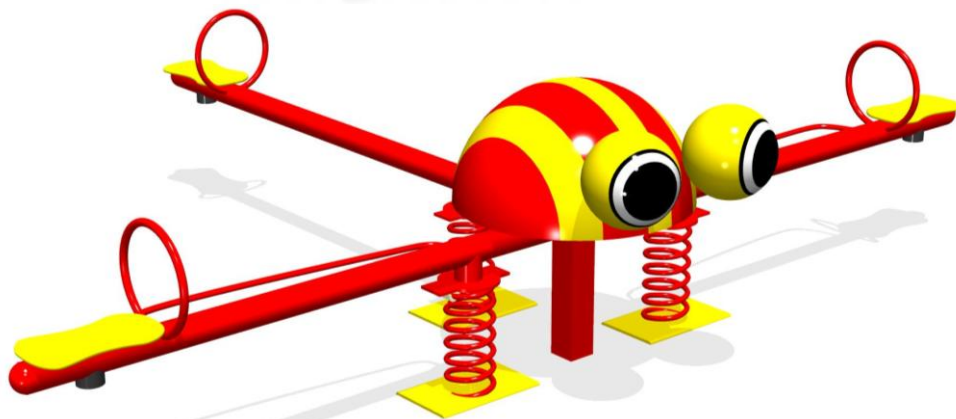
インクルーシブ遊具(案) 単体遊具

特徴

- ・音や声で楽しむ遊具を複数設置。



幼児用遊具(案) 単体遊具



特徴

- ・3～6歳の乳幼児が遊べる前後にスライドするスイング遊具。
- ・立体的なデザインが魅力。

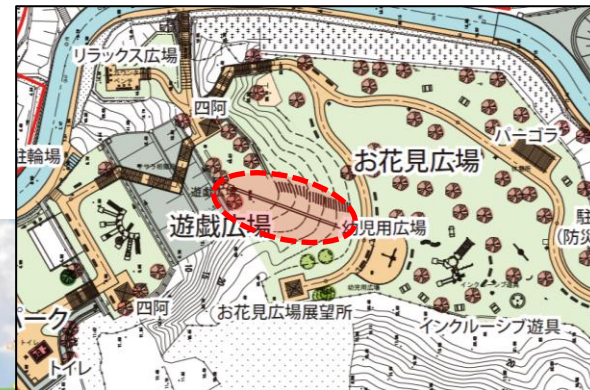
特徴

- ・3～6歳の乳幼児が遊べるトンボ型のシーソー。
- ・立体的なデザインが魅力。

傾斜を活かした遊具(案)

特徴

・6～12歳の児童が遊べる、既存の傾斜や高低差を活かしたローラーすべり台。



冒険遊具(案)

特徴

・6～12歳の児童が遊べる、運動能力を最大限に発揮できるアスレチック遊具。フェンスなどにより砦感を演出。



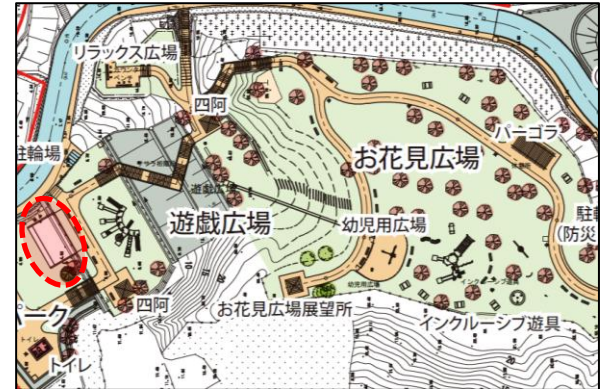
(左から)

- ・ネットクライミング
- ・ウェーブ型スライダー
- ・ストレート型スライダー
- ・ワイド型スライダー
- ・螺旋型スライダー
- ・チューブ型スライダー
- ・クライミング遊具

冒険遊具(案)

特徴

- ・小学生以上の児童が遊べる既存の傾斜や高低差を活かしたワイドなスライダー。



事例:上柚木公園(東京都八王子市)



事例:南池袋公園(東京都八豊島区)